

平成 26 年度大阪府立視覚支援学校 第 2 回学校協議会 記録

1 日 時 平成 26 年 11 月 10 日・13 日 10:30～13:30

2 場 所 大阪府立視覚支援学校 校長室及び新校舎各教室

3 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 授業等見学
- (3) 協議
- (4) 准校長謝辞

4 協議事項

- (1) 平成26年度の取組みの進捗確認
- (2) 平成26年度 改善に向けての意見等

5 協議内容

(委員) 触覚による学ぶことの重要性、造形を想像する力の育成が必要。  
作業動作に差があるので工夫が必要か。

(委員) 提示、指示の出し方に工夫が必要ではないか。

(委員) 墨字、拡大鏡、点字使用の生徒に配慮した授業で、ICT 活用はわかりやすい。近年、パワーポイントによる研修会が多く、視覚障がい者への配慮が欠けていると指摘されている。ICT 活用の在り方を検討する必要があると感じた。

(委員) 身近なものから興味を持たせる手法は良い。

(事務局) 障がいの状態に応じた提示等になっているか、今後も見直しが必要と考える。

(委員) 聴覚からの情報処理に優れた生徒には感心した。楽しく授業を受ける中で落ち着いて座位保持を保つことの重要性を生徒の個性に合わせて指導されている。

(委員) 学習の定着がすぐわかるのは少人数で授業を行っている利点。

(委員) 受験をする生徒がいる時、試験の時間等を知る機会を作る必要があるのでは。

(事務局) 近隣等の学校と連携して交流及び共同学習を行っている。

(委員) 生徒の個性に合わせた授業の在り方を各先生方が工夫されている。ADL 室を拝見し、いずれ二十歳を過ぎることを考えると ADL 訓練（自立助長）は必要不可欠。各先生方は十分指導されていると思うが、ADL 訓練には力を入れていただきたい。

6 今後のテーマと開催予定について

第 3 回

- ・テーマ 学校による取組みの自己評価を踏まえた学校関係者評価に関する事項  
次年度の学校経営計画策定に向けての意見等
- ・開催日 2 月中旬を予定